

銀漢亭日録

伊藤伊那男



4月18日(日)▼九時半、小田急線伊勢原駅。次女の婿、孫二人。長女の孫二人。計男六人で大山登山。下社までケーブルカーを使う予定を立てたが、孫達が歩く！ というので男坂の急登からスタート。下社辺りでようやく身体が馴れてきたものの、山頂十三時過着。へとへと。眺望良好で伊豆半島、真鶴半島、三浦半島、房総半島まで一望。富士山も。昼食。下りは見晴台コースを廻る。引率のつもりで来たが、孫達の足は早く、付いていくのがやっと。下社から私だけケーブルカーに乗る。伊勢原駅着十七時半。駅前の居酒屋に入り孫達に食べさせる。帰宅すると近所のレマちゃん夫婦が来ていてお好み焼(レマちゃんがお神戸出身で名人)。

19日(月)▼八時半の新幹線に乗車。名古屋へ。一昨日、月末期限のホテル宿泊券が残っていると娘が言うので、名古屋を選んだもの。富士山が美しい。新幹線ホームのきしめん店に入り、朝、昼兼用の食事。東海道線で二駅先の清洲城を訪ねる。道を尋ねた婆さんが案内してくれる。月曜日で復元天守は休館ながら、城跡の雰囲気を楽しむ。城跡は鉄道に分断されている。名古屋に戻って桑名へ。八間通から本佛寺、七里の渡、ザフナツヤ(船津屋)、桑名城址(九華公園)など巡り、タクシーを頼んで掛斐・長良の二川を渡り、長島の大智院へ。曾良、芭蕉の縁の地。曾良はこの地で青少年期を過ごした。寺は留守の様子で、しばらく境内や横の堤防など散策していると住職夫妻が帰宅。声を掛けると本堂に招いてくださり、一時間ほど話し相手になってくれる。いろいろ収穫あり。伊勢、長島城は今、小中学校の敷地。十八時頃名古屋に戻り、「ヒルトン名古屋」へ投宿。十八階の豪華な部屋。近くに

いい雰囲気のお店を見つけて入る。「大甚本店」という古そうな店で、賀茂鶴の大樽が据えてある。鰯煮、ヤリイカ煮、ばい貝煮。煮蛸、奴、鮪の刺身。大きな徳利を二本飲んで、四千円は安い！「山本屋」の味噌煮だうどんを食べて二十一時過ぎには就寝。20日(火)▼たつぷり寝る。十一時半迄ホテル。エッセイ一本。選句など。朝昼兼ねて味噌カツ定食。地下鉄で名古屋城。見事な縄張り。隅々まで見て復元本丸御殿。これも実にいい仕事！城の見学三時間ほど。大須観音を参りして伏見の昨日行った居酒屋「大甚本店」へ。子鮎の飴炊、白和、イカと帆立の刺身。太刀魚塩焼。生牡蠣一つ。鯉汁。賀茂鶴二本。ビール大瓶一本。十九時半位の新幹線に乗車。昏々と寝て東京へ。

21日(水)▼こしだまほさんへ依頼した銀漢亭の写真データ、沢山到着。NHK出版に送る。伊那の井上井月顕彰会の竹入弘元先生が四月十八日逝去された。私の高校の恩師でもあった。二年前の伊那の大会にわざわざ夫人の運転で会いに来て下さり、銀漢基金を頂戴したのが最後であった。

22日(木)▼十三時、両国駅集合。伊那北会で小さな吟行。回向院、江島杉山神社、江東区芭蕉記念館、芭蕉稲荷神社など三時間ほど歩き、「三州屋」で小酌し、十六時の開店を待って森下の「山利喜」。煮込でワイン、あと酒へ。十八時にはお開き。

24日(土)▼農家の野菜買いに自転車。「あ・ん・ど・うクリニク」。血圧だいぶ落ち着いているので薬の量を減らそうと。酒が減ったこと、睡眠をたっぷり取っていることが効いてきたか？体重は減らないが……。

25日(日)▼十四時、飯田橋、角川本社。「俳句」合評鼎談。今日は私が司会。丁度二時間で終わらせる。緊急事態宣言三度目の初日。

27日(火)▼十一時、新宿某生保打ち合わせ。昼、神保町の郵便局にて銀漢の資金移動。十三時から発行所にて北辰社の役員会。武田、杉阪、川島、渡辺、柊原、多田、今井。十七時、愛宕下の藤井公認会計士事務所。少し時間があつたので、愛宕神社の裏に廻ると、杉田玄白の墓がある。

29日(木)▼司馬遼太郎の『街道をゆく』の四十三巻「濃尾参州記」(未完)が手許に届く。娘にネットを取り寄せてもらうと、何と代金一円、送料二五七円。合計二五八円という。本の価値はどうなってしまったのか！新品である。六月号同人、会員分選句終了。夕方、成城仲間の二家族来宅。食事会。

5月1日(土)▼「銀漢」六月号の彗星集書いて執筆終了。俳人協会のカレンダー来年二月用に短冊を書いて送る。この字が載るとなると何とも恥ずかしい。

2日(日)▼先日の伊勢長島訪問で触発されて河合曾良について「銀漢」用エッセイ三回分を書く。俳人協会の「第六十回全国俳句大会」一次予選にとりかかる。分担約三千句あり。夕方、家族で成城仲間のN家へ。三家族集まる。砂肝のニンニク風味炒めと糠漬持参。メインはBBQ。

3日(月)▼伊那北会(といっても三人)十時半、東武動物公園駅集合。バスにて関宿城跡へ。植田の中を歩く。利根川と江戸川の分岐のあたりに城跡あり、模擬天守が県立博物館。水害、河川改修の歴史は凄い。久世藩の資料室もあり。明治の河川大改修により城跡はほとんど痕跡を残さないほど。明治まであった城の跡がここまで消え失せたのは珍しい。僅かな痕跡数カ所を見て、終戦時の首相「鈴木貫太郎記念館」を少しだけ覗いて駅へ戻る。駅前の居酒屋が酒は出せないというので、春日部に出て居酒屋を探す。井蛙

さん誕生日にて祝杯を挙げる。帰宅すると成城仲間二家族、孫の友人などが来ていて少々歓談。

4日(火)▼俳人協会「第六十回全国俳句大会」の一次選考を送る。井上井月顕彰会の北村会長より、九月の伊那の井月祭での講演の依頼あり。

6日(木)▼O氏句集稿二回目の点検。調布市の文芸祭講演会の用意。十六時、新宿駅に武田編集長、杉阪氏と打ち合わせ。喫茶店にて北辰社の株主総会の書類承認。あと久々近況報告をし合う。

7日(金)▼自転車で散策。農家の野菜、喜多見方面で肉、魚。「銀漢」六月号の校正作業。高校同期の泰明君と五月下旬、会津・高山のドライブ計画あつたが、緊急事態宣言延長で中止とす。

8日(土)▼「銀漢」七月号のエッセイその他。自転車で祖師谷大蔵へ買い物。夜、杏一家きて夕食。久々、春雨のうま煮を用意。NHK俳句七月号の「復活銀漢亭一句句菜夏野菜編」のゲラ着。大判の雑誌の七頁を使ったカラーという贅沢。

9日(日)▼夕方から庭でBBQパーティー。母の日の祝い。丁度、三浦半島から到来した蚕豆を焼く。仙台「司」から取り寄せた牛タン。爽やかな気候。

10日(月)▼「本部句会」「大倉句会」などの選句。雑用などこなし一日部屋で過ごす。蚕豆と海老の胡麻ソース和、メダカと大葉、茗荷のポン酢和など夕食を作る。コロナウイルスのワクチン接種の案内来る。